

<集団検診受診時の注意事項>

	検診を受診できない場合	事前に主治医に相談が必要な場合
胃がん（バリウム）	・妊娠中、妊娠の可能性がある人 ・検診前日の夜9時以降に食事をしたり、水・さ湯以外の飲み物を飲んだ人、検診当日、検査時間2時間前までに水・さ湯を200ml以上飲んだ人 ・胃・十二指腸潰瘍の疾患で手術を受けたことがある人、または治療中の人 ・バリウムや下剤を飲んで、体調を悪くされた経験がある人 ・過去にバリウムや食べ物が気管や肺に入り込んで、病院で誤嚥と診断された人 ・腎機能障害で透析中の人 ・呼吸不全のある人 ・急性心不全や重篤な不整脈などの心疾患がある人 ・身体が不自由で、体位変換や手すりを保持できない人 ・検診日当日に血圧が高い人	・ペースメーカーまたは埋めこみ型除細動器を入れている人 ・潰瘍性大腸炎、クローン病等の炎症性の腸疾患を治療中、もしくは治療を受けたことがある人 ・何らかの疾患で水分制限、運動制限のある人 ・食道、小腸、大腸、肝臓、すい臓の手術を受けた人 ・便秘が強く、薬を内服している人 ・脳圧亢進シャントを入れている人、脳血管障害、頭部手術の既往が1年以内にある人 ・心疾患で1年以内に手術をした人 ・虚血性心疾患・脳血管障害で1年以内に発作があった人 ・呼吸器疾患で1年以内に手術をした人 ・喘息発作の治療中の人 ・検査3日前(72時間)排便のない人
	※朝、薬の内服がある場合は、申し込み時にご相談ください。	
肺がん・結核	・妊娠中、妊娠の可能性がある人	・肺がん等で治療中及び経過観察中の人
	※検診を受けやすい着脱しやすい服で受診してください。 飾りや文字・絵のついていない、色・生地が薄い服ならそのまま検査をうけていただけます。 ネックレス、ブラジャー、湿布、カイロ等ははずしてください。 ※胃がん(バリウム)検診を受診後に結核・肺がん検診のレントゲンを撮ると、胃部が写ってしまうため、同日の受診は避けてください。	
大腸がん	・腹痛や下痢便等、消化器症状のある人 ・痔出血のある人 ・生理中の人	・大腸や胃の病気等で現在、医療機関で治療中及び経過観察中の人
	※検診時に容器をお渡しします。必ず日を変えて2本採ってください。 1日分しか提出がない場合は、正確な結果を得ることが難しくなります。	
乳がん	<マンモグラフィ> ・妊娠中、妊娠の可能性がある人、授乳中の人 ・ペースメーカー、リザーバーを装着している人 ・体内にシリコンが入っている人 ・乳がんの手術や乳房再建手術をしてから、1年未満の人	<マンモグラフィ・エコー> ・乳がん等で医療機関において、治療中及び経過観察中の人 <マンモグラフィ> ・ワーファリン等血液を固まりにくくする薬を内服している人
	※乳がん（マンモグラフィ）において、不均一高濃度や極めて高濃度の乳腺の人は乳腺が多く残っているため、画像全体が白くなり、病変があっても確認できない可能性があります。このような場合は、市のマンモグラフィ検診に加え、医療機関等でエコー検査を受ける方法もありますが、その場合の費用は自己負担となりますので、ご了承ください。	
子宮頸がん	・生理中の人 ・妊娠中、妊娠の可能性がある人 ・子宮がん等で医療機関において、治療中及び経過観察中の人 ・受診日の6か月以内に不正出血、月経異常等がある人 ・性交渉未経験の人(検診による出血や痛みを生じる可能性があり、医療機関への受診をお勧めします)	・子宮の手術を受けたことがある人
	※閉経後の方は子宮頸部の細胞量が少なくなっており、必要量の細胞が採取できない可能性があります。 ※スカートを着用していただくと衣服の着脱が便利です。	